

1

【出題の意図と対策】

国語の学習でよく行われる要約は、読解力を高め、国語以外の学習にも役立つ読解力をつけられること、また復習による成績向上について述べた文章。(1)では三字熟語の知識を問うた。(2)では、文章内容を理解して説明する力、(3)では、文章内容的確に理解し、ふさわしいものと適切でないものを選び取る力、(4)では、自分のことをふり返り短くまとめる力、(5)では、筆者の主張をとらえ、まとめる力を試した。

【解答】

- (1) (例) 想像力・小説を読むと想像力が広がって、とても楽しい。
- (2) (例) 読解力を高める訓練になり国語の勉強になるだけでなく、他教科の解説を理解するのにも役立てるため。
- (3) ②
- (4) (例) 自分の考えが深まるので、新聞を読み、様々な分野に興味関心を持つようにしている。
- (5) (例) ノートのまとめ直しは、関連する情報をまとめたり、図解をして要点を関連づけてまとめたりすると量と質が高まり、理解が促進され成績向上につながっていくということ。

【解説】

- (1) 「○○力」という構成の三字熟語は他に、「集中力」「競争力」などがある。意味を確実に理解できている言葉を選び、例文を考えるようにしよう。他に上の二字が下の一字を修飾するものには、「望遠鏡」「国有林」「専門家」「探検隊」などがある。文中の「論理的」「体制化」「復習用」などは、二字熟語のあとに接尾語がついた三字熟語である。
- (2) 教科書の文章の要約は、国語の授業で行われていることだが、傍線部アの次の段落に書かれているように、「読解力を高める訓練になり国語の勉強になる」だけではない。「社会や理科、算数といった他教科の解説を理解する」のにも役立てられるためだ。要約するには、「意識を集中してじっくり読む必要」があり、理解を深める練習をすることができる。
- (3) 第四・五段落に着目する。「要約することの他にも……」のあとに、具体的な読解力を高める訓練が書かれている。友だちと質問を合ったり、自分で質問をつくって答えたりすることが書かれている。さらに、本文全体から、復習や疑問点を調べることの重要性は述べられているので、②が適切ではない。
- (4) 本文では、まとめノートづくりという勉強法が取り上げられている。受験勉強に関することだけでなく、問題文には「学習」とあるので、日々の受験勉強以外のこともよい。読書を行っていること、漢字の書き取りを行っていること、正解した問題の解説も必ず読むなど、自分の学習をふり返ってみよう。
- (5) 最後から四段落目には、研究結果が書かれている。その内容をふまえたうえで、最後の三段落の筆者の考えに着目する。授業で学んだことを、自分なりに体系的に図解も用いながらまとめ、関連した情報も加えたまとめ直しをしていくことで、内容への理解が深まり、成績も向上すると述べている。さらに、まとめ直すことにより、テストに役立っただけではなく、理解が促進されていくという点にも注目したい。

2

【出題の意図と対策】

自分の体験を思い起こして、テーマにそった内容を導く力、整理して書く力、作文の条件に従って適切な内容を述べる力、筋道を通して文章を書く力、指定された要素を織り込みながら自分の考えをまとめる力をみる。

【解答】

(例) ぼくは学校でクラスメートと勉強を教え合うことを習慣にしている。なぜそういう習慣があるのかというと、先生がグループごとに教え合う仕組みをつくっているからだ。問題を解き終えた人は、グループ全員が解けるように、サポートをする仕組みになっている。この活動で、何がわからないポイントなのかを理解できることと、相手の立場になって考えたり、相手のペースに合わせたりすることの大切さに気づくことができた。

【解説】

まずは、勉強を教え合ったり教えたたりした経験があったかどうかをふり返ろう。自分が教えたことがなくても、クラスにそういう子がいなかったか、ふり返ってみるとよい。どのような場面で経験したことかを示し、そのうえで体験を通じて「気づいたことや感じたこと」をまとめよう。勉強を教えることだけでなく自分の知識を他人に伝えることは、自分の知識の確認にもつながり、自分の成長にもつながる。

3

【出題の意図と対策】

空き家問題に関する複数の資料を題材として、資料から読み取った内容を関連づけて説明する力、社会的事象に対する思考力や判断力、表現力をみる。

【解答】

- (1) (例) 人口は減り始めているのに、住宅総数は増え続けているため、住宅が余ってしまったから。
- (2) ア (例) 景観が悪くなること  
イ (例) 家屋が犯罪に利用されること
- (3) (例) 都会に住んでいるが、直接出社せずに働いている人へ空き家を貸し出すことで、郊外や地方への移住者が増え、地域が活性化する。

【解説】

- (1) 資料1より、日本の人口は二〇〇八年以降減少していることがわかる。それに対して、資料2より、日本の住宅総数が増加し続けていることがわかる。
- (2) 郵便物がたまっていくと、その家屋が空き家であることがすぐにわかってしまう。また、窓ガラスやかがが壊れていると、そこから不審者が侵入するなどして、家屋が犯罪に利用される。郊外や地方では、若者が都会に出てしまい、地域の高齢化が進行するなどの問題が起こっている。空き家を活用することで、若者を郊外や地方によびもどすような方法が求められている。